

平成 29 年度加東市の交通施策に係る取組結果

1 交流の中核となる新たな交通結節点の整備 計画書 p.99～100★

人々の交流やにぎわいを創出し、まちの活性化につなげるため、関係機関と連携・協力して、やしろショッピングパーク B i o 周辺に新たな交通結節点としてのバスターミナルを整備します。

平成 29 年度は、市役所内でプロジェクトチームを立ち上げ、バスターミナルの形態・機能・規模について調整を始めました。また、バスターミナルの整備にあわせた、やしろショッピングパーク B i o 周辺への社営業所、車庫等の移設について、神姫バス株式会社と協議を行いました。

2 パーク＆ライド推進のための駐車場等の確保 計画書 p.101～102

鉄道や高速バスの利用とパーク＆ライドを推進するため、駅や高速バス停留所付近での駐車場及び駐輪場を確保します。

平成 29 年度は、滝野社インター停留所北側に収容台数が最大 45 台の駐輪場を整備しました。広報かとう 5 月号に紹介記事を掲載し、PR をしています。また、J R 社町駅前の市営駐車場は、定期駐車場が 34 区画のうち平均で 29 区画の利用、普通駐車場が 1 年間で延べ 5, 698 台の利用がありました。



滝野社インター停留所北側駐輪場の位置・写真

3 広域交通（鉄道・高速バス・路線バス）と連動した地域公共交通ネットワークの形成

計画書 p.105～106★

交通事業者や近隣市町、国、県との連携の下、運行ダイヤの見直しや路線バスのルート見直し、路線バスと鉄道・高速バスとの連動など、公共交通の利便性を向上します。

平成 29 年度は、乗継待ち時間の短縮による運行ダイヤの見直し、社三田線の運行ルート変更について、神姫バス株式会社と協議を行いました。また、社三田線の運行ルート変更（久米経由廃止）及び米田ふれあい線の利用区間拡大については、米田ふれあい号

運行会議において協議を行い、米田ふれあい線の利用区間となっていない上久米、下久米、久米の各地区の役員・住民への説明会を順次開催することを決めました。

4 高速バスの一層の利便性向上による定住化・交流の促進 計画書 p.107～108

高速バスを利用し、神戸、大阪及び京都方面に気軽にアクセスできることは、加東市の魅力の1つとなっていることから、高速バスの一層の利便性向上による、定住化の促進、交流人口の増加を目指します。

平成29年度は、加東市と大阪を結ぶ高速バスの利便性向上のため、始発を今より早い時間帯に、終発を今より遅い時間帯になるよう運行ダイヤを変更することや、社を大阪方面行きの発着点とすることについて、神姫バス株式会社及び西日本ジェイアールバス株式会社と協議を行いました。

5 タクシーの有効活用に向けた取組 計画書 p.111～112★

高齢者や障害者の閉じこもり予防や外出支援を目的とした福祉タクシー事業について、福祉部局において事業の効果を評価・検証し、今後のあり方を検討します。

平成29年度は、福祉タクシー事業の一部を見直しました。福祉タクシー事業は、閉じこもり予防や外出支援を目的としているため、福祉タクシー券を複数回に分けて利用してもらえるよう、1度に使用できる福祉タクシー券の枚数の上限を5枚とする制度に変更しました。また、平成29年度（平成29年7月から平成30年3月まで）の福祉タクシー券の交付枚数は68,940枚で、利用率は40.5%です。

6 地域や学校、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの実施 計画書 p.113～114★ **地域公共交通に関する情報提供、PR施策の展開** 計画書 p.119～120

自発的な自家用車中心の社会からの転換を促すモビリティ・マネジメントや公共交通の利用促進のためのPRに取り組みます。

平成29年度は、国の補助金を活用し、市内の路線バス、高速バス、鉄道の路線を表示したマップ、時刻表、運賃表のほか、乗継ポイントやバスの乗り方などを掲載した「加東市公共交通ガイドブック」を作成しました。完成後、市内に全戸配布するとともに、市の施設に設置しています。

7 地域の主体的な取組による移動手段の維持・拡大と新たな確保 計画書 p.127～128★

公共交通空白地の解消手段として、地域の主体的な取組による市町村運営有償運送が有効に機能していることから、取組の維持・拡大や新たな地域での導入を行います。

平成29年度は、運行環境の改善として、運転手の報酬を1往復2,000円から3,000円に増額し、畑公民館と平木公民館にカーポートを設置しました。また、利用者の

利便性を向上させるため、米田ふれあい線の車両を8人乗りから10人乗りに更新するとともに、停留所の位置変更や増設を行いました。

市町村運営有償運送の取組を広げるため、市広報紙での紹介記事の掲載、加東市区長会での導入事例の紹介に加え、取組を周知するためのPR動画を作成しました。また、東条地域において各地区・自治会の役員等への説明会を開催し、新たな地域への導入に向けた取組を始めました。

市町村運営有償運送の利用者数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
米田ふれあい線	471人	641人	800人	849人
きよみず線	620人	747人	752人	696人

※きよみず線の平成26年度の利用者数は5月から3月までの11か月間の数字です。



畑公民館カーポート



平木公民館カーポート



米田ふれあい号新車両

★印を付している施策は、加東市地域公共交通網形成計画で定める重要施策です。